

「手間」と「時間」のか

かるわが家の暮らし。朝はストーブの薪に火をつけてから、菜園に味噌汁の具を採りに行きます。薪は前年の積んでおいたもの。野菜は前の月に植えたもの。そんな暮らしを見て友人は「スローライフだね」とつぶやきます。なるほど「スローライフ」を日本語にすると「手間暮らし」と言えるかもしれません。

そんなわが家の「手間暮らし」。よいことがたくさんあります。まず、体をよく動かすので健康になる。



しかも自分に合った速度でできるので、ストレスもありません。とれたてのものが食べられるのも大きな魅力。買うものも減るので経済的。自分たちで手入れをする家や庭には、至る所に

「物語」があります。

一方、コンビニで惣菜や弁当を買ってきて、ファンヒーターのスイッチを入れ

「手間暮らし、楽しく

大津 耕太（農業）

れば、あつという間に食事の支度が終わり。お金さえ出せばそんな暮らしができます。便利さを利用して、余った時間をのんびりと過ごせれば、こっちの方がずっと「スロー」なのかもしれません。

楽をしようとすればキリがない現代。でも便利さを追い求めた結果、より「便利な」都会に人が集まりました。そしてサービスや情報が増えるにつれ、時間に追われて忙しくなった気もします。選択肢のなかった

昔と違い、今は暮らしの中のどの部分を人やモノに任せて、どの部分を自分でするのかを選べる時代です。私たちが選んだ「手間暮らし」は、なにも昔に戻ることはありません。日本の古きよきものを受け継ぎつつ、「手間を楽しめる」新しい暮らしをつくっていきたいのです。

最後に、この三カ月間、いろいろな方に励まされて連載を続けることができました。この場を借りてお礼を申し上げます。